



# 心と心のふれあうまちづくり

## 羽幌町長 舟橋 泰博

新年 あけましておめでとございます。  
希望に満ちた平成16年の新春を迎え、謹んで  
年頭のごあいさつを申し上げます。

町民の皆様には、平素より町行政に対する格  
別なるご支援、ご協力を賜りまして、厚くお礼  
申し上げます。

顧みますと昨年は、雇用・経済など依然とし  
て厳しい情勢でありましたが、町民と共に歩む  
「元氣な羽幌」建設のため、2年目を迎えた総合  
振興計画「ほつとプラン21」に基づき、継続事  
業でもある朝日団地公住建設や下水道整備、島  
民待望の天売小・中学校改築工事着工、また、  
初の試みであります町内循環バス「ほつと号」  
の運行、各方面区（町内会）担当職員制度を導  
入したところであります。

また、本町では15年振りのTVロケをはじめ、

善知鳥（ウトウ）ウォッチングツアー、初の道  
外修学旅行生の受け入れ、加えて焼尻めん羊を  
中心とした離島観光のTV放映等、未来へ向け  
郷土を広く内外に発信する絶好の機会の年と  
なりました。

基幹産業の農林水産については、羽幌・初山  
別・遠別の旧3農協が合併し本町に本所を置く  
「オロロン農業協同組合」が発足し、さらに留萌  
北部4漁業協同組合の合併により本町が本所  
となる「北るもい漁業協同組合」が本年1月1  
日発足するなど、一次産業を取り巻く厳しい情  
勢の中、将来を見据えた努力が期待されるこ  
ろであります。

一方、最重要課題の「市町村合併問題」では、  
留萌中部地域振興協議会の場で、3町村による  
協議を重ねてまいりましたが、本年1月には方  
向性を見出すための任意合併協議会の設置に

ついて結論づける予定であります。

もう一つの最重要課題である「中心市街地活  
性化対策」につきましては、「(株)ハートタウンは  
ぼろ」による商業複合施設が平成17年7月の  
オープンをめざしており、多様化する消費者  
ニーズに対応できる魅力的な中心市街地の活  
性化への取り組みが進められております。

本年も、課題が多岐にわたり山積し、加えて  
財政状況も大変厳しい中にありますが、町民一  
人ひとりが真の豊かさや安らぎを実感できる  
地域社会を築いていくため、今まで以上に情報  
公開を積極的に行い、住民の皆様に行政参加を  
いただきながら「心と心のふれあうまちづく  
り」を目指していく所存であり、皆様方の一層  
のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上  
げますとともに、益々のご健康とご多幸を心か  
らお祈り申し上げます、ごあいさついたします。



## 進むべき方向性を決断のとき

羽幌町議会議長 森 淳

新年あけましておめでとございます。輝かしい新春を皆様と迎えることができ、したことを心からお慶び申し上げます。

町民の皆様には、日頃から町政に対するご理解とご支援を賜り厚くお礼を申し上げます。

顧みますと昨年は、日本経済は依然として低迷から脱しきれず、雇用環境も悪化の一途をたどっている現状にあります。

一方、世界情勢を見ますと、昨年3月に始まったイラク戦争が短期間のうちに終息するかに見えたところ自爆テロにより泥沼化の様相を呈している一方、自衛隊の派遣論争で揺れ動いているなど、平和的な解決策の見通しが立たない現状は残念なことであり、ます。

このような情勢下にあつて、本町では天売小中学校の改築が15、16年度の2力年で整備することになり、児童生徒が安心して学業に専念できる新校舎の完成が待たれるところであります。

また、生活環境では、朝日団地の公営住宅建設も年次計画により着々と整備がされており、ますし、公共下水道では、各家庭からの排水設備工事が盛んに行われるなど衛生的で快適な生活環境が一段と向上したところであります。

一方、産業をみますと、農業は夏季の日照不足や低温障害により心配された水稲は、作況指数88%で全道平均を上回り大幅な落ち込みは避けられ価格高騰により販売額が増えたところでありました。

水産業については、エビは価格安から水揚げを減らしたものの、タコや他の魚種は比較的安定した漁獲高を確保し、特にナマコの魚価高による水揚げ高が増加したところであります。

商業については、<sup>(株)</sup>ハートタウンは「ほろ」による商業複合施設が16年から着工、17年完成を目指し整備されますが、市街地の整備改善、商業等の活性化に期待を寄せるところであります。

観光事業などでは、今年初めて実施されたウトウウォッチングツアーや奈良県の高校生が天売・焼尻に修学旅行で来島するなど新たな事業の拡大につながり観光協会の地道な努力が実を結んだものと推察され、今後期待するところであり、ます。

こうした情勢を踏まえ、私も議会も地域経済の動向を注視しながら、町民の生活安定と福祉の向上を図る責任の重大さを一層感じ精進いたします覚悟でございます。

特に、過疎化とともにすすむ少子高齢化への対応など、町民生活の向上と福祉対策のために努力いたしたいと存じます。

さて、市町村合併の期限が平成17年3月31日に押し迫ってきた中で、昨年11月に地方制度調査会の最終答申が出され、人口1万人未満の小規模町村が明記され、単独町村で生き残ることが非常に困難な状況に追い込まれており、明け早々に羽幌町の進むべき方向性を決断しなければなりません。

合併問題は、住民の合意なしではできませんが、住民の意向を尊重しながら行政と議会が連携を取りながら慎重に協議を重ね意思統一を図って参ります。

このように、刻々と変化する新時代に対応しつつ、厳しい財政事情に考慮しながら地域の活性化が図られるよう創意工夫を重ね理想郷が築かれるため一層努力し、住民の信頼に応えるべく努力いたす所存でありますので町民の皆様方の一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、益々のご健勝と幸多き年であり、ますことを心からお祈りいたします。新年のごあいさつといたします。